

## ご使用上の注意

●取扱説明書に出てくる重要警告事項の部分は、製品を使用する前に注意深く読み、よく理解してください。

- 危険** 重大なけがを避けるために守っていただきたいこと
- 注意** 本製品を取り扱う上で知っておくと便利なこと
- 警告** 事故を未然に防ぐために守っていただきたいこと

## 取り付けについて

- 危険** 事故、故障を防ぐために  
配線を行なう時は、注意しながら作業を行ってください。走行中の振動で接続部分が外れたりすると、コントロール不能になる可能性があります。
- 警告** 事故、故障を防ぐために  
各はんだ付けは5秒以内に行なってください。加熱時間が長くと電子部品の破損の可能性があります。

## ケーブルの配線について

- 注意** 事故、故障を防ぐために  
接続を間違えたり、電源を逆に接続しないでください。また、配線の接合部は必ず絶縁してください。ショートすると本製品が破損する恐れがあります。

## 改造について

- 危険** 発煙、火災、火傷を防ぐために  
モータの中の基板や電子部品は絶対にはんだ付けしないでください。

## 取扱いについて

- 危険** 発煙、火災、火傷を防ぐために  
本製品をご使用中は（電源に接続されている時、あるいは電源スイッチがONになっている時）、絶対に目を離さないでください。異常が発生した場合、火災事故などの危険性があります。
- 注意** 事故、故障を防ぐために  
本製品は絶対に、水・油・燃料（導電性のある液体）などがある場所に設置しないでください。電子部品はこのような液体に含まれているミネラルを嫌います。濡れた場合はすぐに使用を中止して乾かしてください。
- 注意** 事故、故障を防ぐために  
シャシー駆動部に組み込まれていない状態では絶対にフルロットルにしないでください。モータを無負荷で高回転させると、破損の原因となります。
- 注意** 事故、故障を防ぐために  
間違ったギヤ比はモータに過剰な負荷をかけてしまい、異常発熱等により破損の原因となります。ギヤ比は注意してお選びください。

製品に関するお問合せ先

株式会社 **アキュヴァンス**

〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1-18-22  
新大阪丸ビル別館 7F  
TEL 06-6379-1191 FAX 06-6379-1190  
http://www.acuvance.co.jp 330299

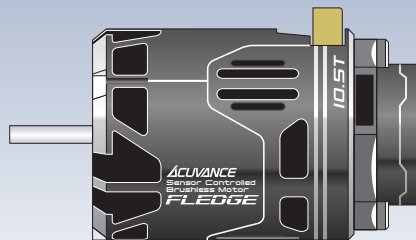
テクニカルサービス課

**ACUVANCE**

Forced Air-cooled Motor

**FLEDGE**

## 取扱説明書



この度は、当社センサコントロールブラシレスモータをお買上げ頂き誠に有難うございます。本機は当社ブラシレスESCと組み合わせてご使用頂くことで、最高のパフォーマンスを発揮します。本機の性能を100%お楽しみいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。またご一読の後は、大切に保管してください。

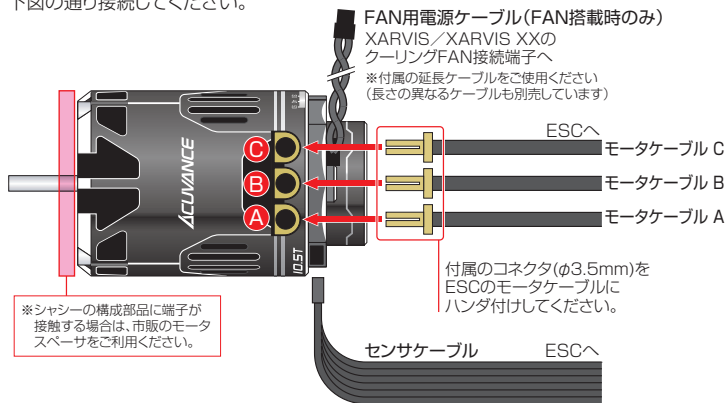
## FLEDGEの特長

- 業界初、モータ内部への強制空冷を実現した画期的システム、[A.V.S.]搭載  
モータ内部各所にエア・ホールをA.V.S. 設置し、エンドベル側からモータ内の熱源を直接冷却する画期的構造
  - 剛性を保ちながら、モータ重量を低減
  - 同一ロータ径（容積・重量）で磁力のみを変化させ、トルク型・回転型モータへの変換を可能としたAGILEオリジナルシステムの[M.F.C.S.]を継承
  - XARVIS XX(ダブルエックス)に搭載のファンクション[トルクレベリング・トルクエンドポイント]に対応
- 特長に関する詳細や本製品の最新情報は、弊社ホームページや公式Twitter(@ACUVANCE\_JAPAN)等でご確認ください。

※本機はセンサードブラシレスESC専用モータです。センサレスESCにはご使用になれません。

## 接続方法

下図の通り接続してください。



## ●センサコード

ホール素子による位置信号をスピードコントローラ(以下ESC)に伝送するコードです。ESC側・モータ側とも同形状のコネクタですので、向きの区別はありませんが、差し込み時は形状に合わせて差し込んでください。このコードが接続されていないとESCの初期設定を行なうことはできません。(勿論、走行する際にも接続したままとしてください)接触不良は誤作動や破損の原因となるため、しっかりと接続してください。また、センサコードの改造は故障の原因となるため絶対におやめください。

**注意** 車両搭載時には、モーターケーブルとセンサコードが接触しないようにしてください。ノイズにより正常に動作しない場合があります。

**警告** ESCとの接続の際は、必ずA・B・Cの記号が一致したケーブル同士を接続してください。記号の異なるケーブルを接続すると、モータの回転を制御できない上、ESCやモータに大電流が流れる場合があり、各機器の破損・焼損に繋がります。また、センサレスタイプのブラシレスモータとは異なり、**接続ケーブルを入れ替えてもモータの回転方向を切り替えることはできません**。必要に応じ、ESCにて回転方向の切り替え\*を行なってください。

**注意** モーターケーブル端子「A」「B」「C」全てにおいて、半田付けの際、ケーブルと端子が十分に半田がなじんでいないと、正常に動作しない場合があります。過負荷等のご使用環境によっては、半田が溶け出す場合もあります。正常に動作しない場合は、半田付け部分の確認をおすすめします。

\*回転方向を切り替えるには、ESCに回転方向変更機能を搭載していることが必須となります。(弊社製ブラシレスESCはこの機能を搭載しています)

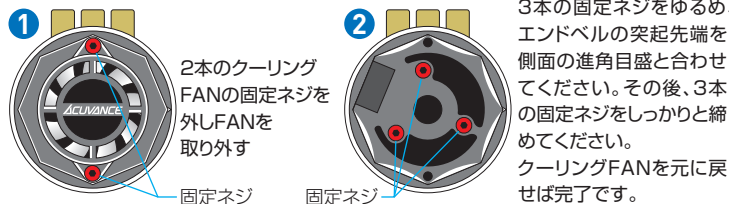
**警告** モーターケーブルを交換する場合は、コデ先面積が広く高出力(70W前後)のハンダコデを使用し、素早く作業を行なってください。出力の弱いコデではハンダが溶けにくいために十分な溶着ができません、振動でケーブルが外れたり、接触不良を起こしたりする場合があります。また、長時間過度の加熱をすると内部部品が破損する場合があります。(端子同士がハンダ等でショートしないよう、十分にご注意ください)

**警告** モータをモータマウントに固定するビスは、必ず長さ8mm以内のものをご使用ください。(モータスペーサを使用する場合は、[スペーサの厚み+8mm]以内のものをご使用ください。)

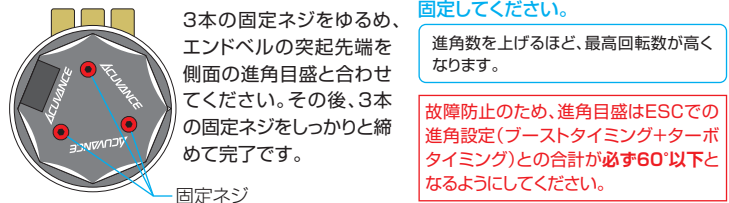
**注意** 各種コードケーブルはご使用状況や経年変化により劣化します。これにより、モータESC本体の性能を損ない、場合によっては破損につながることもありますので、適時新しいものと交換して頂くことをお勧めします。

## 進角の調整方法

### FAN搭載時



### FAN非搭載時



故障防止のため、進角目盛はESCでの進角設定(ブーストタイミング+ターボタイミング)との合計が必ず60°以下となるようにしてください。

## 重要

進角目盛は正回転時のものです。ESCの回転方向変更機能によりモータを逆回転させる場合は、目盛の大小が入れ替わります。

※進角目盛を最大(55)に合わせた場合、逆回転時の進角は最小となり、進角目盛を最小(0)に合わせた場合、逆回転時の進角は最大となります。回転方向を逆転させる場合は、十分にご注意ください。

## Forced air-cooled Motor

# FL EDGE

センサコントロールブラシレスモータ  
フレッジ

### 仕様

	10.5T	13.5T
入力電圧(V) <sup>*1</sup>	4.8V~11.1V	
KV(rpm/V) <sup>*2</sup>	3,530	2,830
消費電力(W) <sup>*2</sup>	250	190
効率(%) <sup>*2</sup>	92	92
標準搭載ロータ	シンタードφ12.3mm (ネオジウムマグネット) LV38	
コイルワインディング方式	スターワインディング	

●仕様は予告なく変更する場合があります。

※1：モータ単体での値。ESCの許容電圧に注意してください。 ※2：7.2V入力・無負荷時

### ギヤ比基準値<参考値>

各カテゴリにおける参考ギヤ比を掲載しております。ただし、あくまで参考値であり、ESCの性能やマシンのセッティング、コースの特徴などにより最適なギヤ比は異なりますので、ESC・モータの発熱具合を確認しながらご自身の走行スタイルに適したギヤ比を決定してください。また、ドリフトカテゴリについては、路面グリップの状況、走行スタイル、ブーストターボの値等、適正ギヤ比値を左右する要素が多いためここでは割愛しております。ドリフトカテゴリでのご使用が初めての方は、先ずは下記「オフロード2WD」の値を参考にいただき、5~10分程度の走行におけるESCやモータの発熱具合を確認しながらギヤ比を決定してください。

	10.5T	13.5T
オンロードテクニカルコース[7.2-7.4V]	5.0 : 1	4.4 : 1
オンロードテクニカルコース[6.0V]	5.2 : 1	4.6 : 1
オフロード2WD	8.5 : 1	7.4 : 1
オフロード4WD	7.8 : 1	6.5 : 1
オフロードトラック	6.7 : 1	5.5 : 1